

2月に入り立春を迎え、気温の高い日が続いておりますが、今後はまた真冬の厳しい寒さが戻ってくるようです。また、インフルエンザが全国的に流行し、患者数が過去最高を記録するなど猛威を振るっておりますが、年度末に向けて受験や卒業など大事な時期を迎えますので、体調を崩さないよう努めていきたいものです。

## 平成30年度青森県学校栄養士協議会冬季研修会 1月9日(水)青森県総合社会教育センターで開催されました。

午前には「学校における食育を効果的に推進するために」の講義で、講師の上越教育大学大学院 野口孝則教授が食育や栄養教諭のあり方を改めて見直し、より効果的に食育を推進していくためのポイントなどについて説明され、参加者は今後の食の指導に活かそうと熱心に聞いておりました。



午後は伝達講習の後、青森県立保健大学 鹿内彩子准教授による「東南アジアにおける子どもの健康・栄養問題と学校給食と栄養士（栄養教諭）の果たす役割」の講義でした。青年海外協力隊や国際NGOでの現地勤務を経験した講師による、東南アジアの現状を伝える内容に参加者は大きな衝撃を受けておりました。最後に県教育庁スポーツ健康課 川井指導主事による「平成31年度学校給食の動向について」と県学校給食会 坪田課長による「平成31年度物資予想価格並びに事業について」の説明が行われました。

また、昼には県産食材を使用した学校給食向け加工品の試食が行われ、参加者は加工品の特徴等を確認しながら試食し、献立への導入を検討しておりました。

## 平成30年度学校給食センター所長会議

1月10日(木)、青森県総合社会教育センターで開催されました。

開会の後、県教育庁スポーツ健康課川井指導主事による「平成31年度学校給食の動向について」と県学校給食会坪田課長による「平成31年度物資予想価格並びに事業について」の説明がありました。続いて、食品問題研究所代表 垣田達也氏を講師に「食品業界2020年を境に何が起きる ～食品表示法猶予期間迫る！食品業界に与える影響とは～」の講演が行われました。「食品衛生法」、「JAS法」、「健康増進法」の食品表示に関する規定を統合した食品表示法の完全実施を前に、食品表示の変更点についての説明と食に関する最新情報も解説され、わかりづらい食品表示についてポイントを絞った内容に参加者は興味深く聞いておりました。最後に研究協議として平成31年度の給食費の動向について、各センターの状況が報告されました。

## 物資細菌検査結果について

◆1月に在庫した物資の細菌検査結果は、一般生菌・大腸菌群及び大腸菌・黄色ブドウ球菌について検査したところ、いずれも問題ありませんでした。なお、検査した製品は次の15品です。

カミカミタコメンチ 40g	富士山ゼリー	白花豆コロッケ 60g	黄金カレイ生姜煮 40g
コーン焼売(P)18g	りんごジュース	黒糖蒸しパン(がんづき)	大学いも(飴付)
骨なしあじフライ 50g	Ca 国産鶏つくねバラ 50g	素干風焼きのり	野菜とわかめの豆腐よせ 50g
いわしハンバーグバラ 40g	レバー入りチキンメンチカツ	いわし紀州煮	